

図書館ボランティア、図書館ネットワーク

千葉県 市川市立富貴島小学校

基本データ

所在地 市川市八幡6丁目10-11
 児童生徒数 622人
 教職員数 46人
 蔵書数 13,888冊
 年間貸出冊数 16,802冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】公共図書館、地域との連携体制、ネットワークの構築、読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 学校図書館ボランティアは、進んで本を手に取り主体的に読書に取り組む児童を育てる活動を支援し、図書室内外の装飾や環境を整備、進んで読書したくなるようなきっかけ作りをしたりしている。
- 本校では、授業のねらいを達成するために、本市で実践されている図書館ネットワークを進んで活用している。

取組・活動の概要

(1) 学校図書館ボランティア

- 本校では、学校図書館ボランティアとして、保護者の方が有志で集まっている。
- 学校図書館ボランティアは「環境整備部会」「イベント部会」「学習サポート部会」といった3つの部会によって構成。
- 「環境整備部会」は、図書にまつわる掲示物を作成、図書室内外の壁面等の装飾を担当。
- 「イベント部会」は、子どもたちに向けて行う年に一度の大型紙芝居公演のために、セットの作成や公演の練習のほか、月に数回の業間休みの時間の本の読み聞かせを実施。
- 「学習サポート部会」は、傷んでしまった本の修繕や定期的に行われる蔵書点検のサポート等をしている。



学習サポート部会 本の修理・蔵書点検

(2) 図書館ネットワーク

- 本市では、学校図書館支援システムの一環として、市立の幼稚園・公立学校・中央図書館に保管されている蔵書を相互貸借することのできるネットワークシステムがあり、普段の授業や研究授業等で、市内中から必要な本を必要なだけ集めることができる。
- 令和元年度の公開研究会では、学校全体で約350冊もの本が集まり、授業で活用された。
- 毎年行っている国語科の研究授業では、「読む」の指導事項に重点を置き、どのような本がどれだけ必要になるかを学校司書と共に学年で綿密に検討し、多くの本を集め活用している。
- 宮沢賢治の「雪わたり」の学習では、図書館ネットワークを活用して集めたたくさんの宮沢賢治作品について自由に意見交換ができる掲示板を設置した。



宮沢賢治作品についての掲示板

- 6年生の伝記の学習では市内中から229冊の伝記を集めたところ、様々な偉人たちの伝記を進んで手に取り、読書記録にまとめる姿が見られるなど、子どもたちの主体的に学ぶ姿勢へとつながった。

『My future』ブックリスト

本の名前	心に響いた!	この人こんな人
1 人語に道号と子爵のノベル	♡♡♡♡♡	イリヤイリヤ、トビ 読者の読後感を導くようにした。このイリヤイリヤは、読者の心を導くようにした。このイリヤイリヤは、読者の心を導くようにした。
2 公明とたけなすの伝記	♡♡♡♡♡	公明とたけなすの伝記。公明とたけなすの伝記。公明とたけなすの伝記。
3 田中正造	♡♡♡♡♡	田中正造。田中正造。田中正造。
4 藤田鳴鶴	♡♡♡♡♡	藤田鳴鶴。藤田鳴鶴。藤田鳴鶴。
5 坂本龍馬	♡♡♡♡♡	坂本龍馬。坂本龍馬。坂本龍馬。
6 伊藤博文	♡♡♡♡♡	伊藤博文。伊藤博文。伊藤博文。
7 西郷隆盛	♡♡♡♡♡	西郷隆盛。西郷隆盛。西郷隆盛。
8 吉田松陰	♡♡♡♡♡	吉田松陰。吉田松陰。吉田松陰。
9 アイザック・ニュートン	♡♡♡♡♡	アイザック・ニュートン。アイザック・ニュートン。アイザック・ニュートン。
10 リンカーン	♡♡♡♡♡	リンカーン。リンカーン。リンカーン。
11 ヴォーテル	♡♡♡♡♡	ヴォーテル。ヴォーテル。ヴォーテル。
12 錦織 圭	♡♡♡♡♡	錦織 圭。錦織 圭。錦織 圭。
14	♡♡♡♡♡	
15	♡♡♡♡♡	
16	♡♡♡♡♡	

6年生の伝記の学習における読書記録

取組・活動の工夫や特徴

- 子どもたちの様子や学校行事、また、学習の内容等を共有しながら活動することで、好きな本の傾向や学習内容等を踏まえての掲示物の作成や読み聞かせの際の選書を行っている。
- 授業のねらいを達成するために、図書館ネットワークを活用して本を集める際には、どのような本がどれだけ必要なのかを、学習のねらいを基に各学年で話し合ってから選書している。
- 研究授業の際には、選書して集めた本のリストと選書の意図を指導案に明記することで、ねらいとなる指導事項とそれを達成するために必要な本のつながりがぶれずに指導に当たることができ、図書館ネットワークによって集められた本をより効果的に活用することができている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 図書館ボランティアの保護者の方々の活動により、子どもたちの読書への関心が高まっている様子が伺える。
- 例えば、季節や時期によって新しく張り替えられる装飾に、足を止めて興味深そうに眺める子どもが多くいる。また、そんな掲示物を楽しみにし

て図書室に向かう児童も少なくない。

- 読み聞かせに関しては、ボランティアの方が読み聞かせをしてくれた後には、その本を始め、同作者や同ジャンルの本が多く借りられる傾向がある。そして、そういった本を休み時間に進んで読む様子も見られている。
- 図書館ボランティアの方々が読んでくれた本がきっかけで子どもたちが主体的に読み広げていた本が、のちのちの授業の際に「あ！この本知ってる！」といったように学習につながることも少なくない。
- 図書館ネットワークを活用して、多くの本を集めて活用することが、各授業での深い学びへとつながっている。
- 本校では、「並行読書」を大切にしている。学習材を基にして学習を進める際に、同作者や同ジャンルの本を集めた本棚を各学年や各学級に設置し、子どもたちがいつでも手に取れるような環境作りをしている。
- 子どもたちは、一種類の本だけでなく、同作者や同ジャンルの本を自発的に多読していく中で、作者の世界観について自分なりの考えをもちたり、作品を基にして自分の考えを整理したりしている。
- 発展学習として、それぞれが選書した本で同作品同士のグループを形成して学習する際にも、各種類の本を必要な分だけ集めていることで、それぞれの子どもたちの手元に常に本がある状態をつくることができる。
- 本が常に手元にあることが、本文中の叙述を指さしながら考えを伝える姿や、該当ページを開いて他人の意見について考える姿など、本文を大切に学びを深める子どもたちの様子につながっている。